

計画の体系

国 地方創生2.0基本構想（令和7年6月13日閣議決定） ※詳細は参考資料1

- 目指す姿
- ①強い地域経済
自立的で持続的に成長する「稼げる」経済の創出により、新たな人を呼び込み、強い地方経済を創出
- ②「豊かな」生活環境
生きがいを持って働き、安心して暮らし続けられる生活環境を構築し、地方に新たな魅力と活力を創出
- ③「新しい日本・楽しい日本」
女性や若者にも選ばれる地方、誰もが安心して暮らし続けられ、一人一人が幸せを実感できる地方を創出

廿日市市 第3期廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略

- まちづくりの基本理念
市民一人ひとりがともに幸せに暮らせるまちづくり
- まちの将来像
安心に包まれ ワクワクが広がる 未来への挑戦を楽しむまち
つなぎつながり ともに歩む
- 将来像の実現に向け、大切に考える考え方
・社会変化に対応した持続可能なまちづくり ・安全・安心な暮らしの確保 ・多様性と包摂性のある地域社会の実現 ・多様な主体によるまちづくり
- 横断的な視点
新技術（GX・DX、AI・デジタル、ドローン など）の活用、多様な主体との広域的な連携

総合計画と共有

国の地方創生2.0基本構想 政策の5本柱	
1 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生	・若者や女性が安心して働き、暮らせる地域 ・地域コミュニティや日常生活に不可欠なサービスの維持 ・防災力の強化
2 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生～地方イノベーション創生構想～	・多様な食、農林水産物や文化芸術等の地域のポテンシャルを最大限に活かし、多様な「新結合」（異なる分野・領域の要素・人材の組み合わせ）で付加価値を生み出す
3 人や企業の地方分散～産学官の地方移転、都市と地方の交流等による創生～	・人や企業の地方分散 ・関係人口を活かして地方への新たな人の流れを創出
4 新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用	・GX・DX、AI・デジタルなどの新技術の活用による新時代のインフラ整備、社会課題の解決
5 広域リージョン連携	・都道府県や市町村域を超え、地方公共団体と企業や大学、研究機関などの多様な主体が広域的に連携

基本目標	施策	主な取組	横断的な視点
1 いつまでも安心で、ワクワクしながら暮らせる生活環境をつくる	1-1 女性や若者に選ばれるまちづくり 取組例) 安心して働くことができる環境の整備、男女共同参画、保育環境やこどもの居場所づくり、子育ての相談支援 など	総合計画から抽出	● 新技術を超えた多様な主体との連携の推進
	1-2 日常生活に不可欠な地域の生活機能の確保 取組例) 障がい者（児）福祉、地域包括ケアシステム、地域公共交通、防犯 など		
	1-3 安全・快適な生活環境の整備 取組例) 上・下水道、道路、公共施設、公園、インフラ等の整備 など		
	1-4 災害に強くしなやかなまちの構築 取組例) 防災体制の整備・充実、地域強靱化計画、浸水対策 など		
2 未来への挑戦で、地域経済の魅力・活力をつくる	2-1 まちの産業の経営基盤強化と新たな産業の創出 取組例) 市内事業者の経営基盤強化、新たな産業の創出、新機能都市開発・未来物流産業団地 など		
	2-2 一次産業の生産性向上と担い手づくり 取組例) 農林水産業の生産性向上、担い手の確保、消費拡大の推進 など		
	2-3 地域資源の魅力を活かした経済循環の拡大 取組例) 観光客の受入体制の整備、観光戦略、文化財の指定・登録、伝統的建造物の管理・修復 など		
3 人と人とのつながりを深め、新たな人の流れをつくる	3-1 市民の地域への愛着を高めるまちづくり 取組例) 市民協働、地域自治組織のまちづくり活動 など		
	3-2 移住・定住・関係人口の拡大、まちのファンをつくるまちづくり 取組例) 移住・定住、シティプロモーション、多文化共生、交流・関係人口 など		

